

池田金属株式会社

取組内容（池田金属株式会社）

1 紙ごみの削減・再資源化の推進

- ・使用済み封筒やファイルなどを社内便などに利用
- ・書類等はスキャンして電子化保存し、用紙の使用抑制に努めている。
- ・OA用紙や機密書類、シュレッダーなどの紙ごみをリサイクル業者へ引き渡し



使用済みの封筒を社内便などに再利用している



機密書類などは古紙業者へ引き渡している。

3 事業所ごみの再使用、再資源化の推進

- ・ごみ分別表を排出場所や回収容器等に掲示し、従業員等へ啓発
- ・飲料容器（びん・缶・ペットボトル等）ごとの回収箱を設置し、個別に回収



事務所内や市内の事業所・個人が搬入した空き缶等を回収し、製鉄業者に売却



空き缶を自社プレス機でブロック状の塊に加工し、製鉄業者に売却。

4 使い捨て用品の使用自粛

- ・仕入れや商品搬送時に繰り返し利用できる容器等を使用



自社プレス機でブロック状にした塊を運搬する際のパレットを繰り返し使用している。

6 オフィス内の分別回収の実施

- ・使用済み製品や資源物（缶、びん、ペットボトル、プラ容器包装等）、充電式電池、インクカートリッジなどを実施



プラ製容器包装、ペットボトルを品目ごとに回収ボックスを設置している。



空き缶等は自社回収してプレス機で成型してから製鉄会社へ売却している。

10 環境への負荷が少ないシステムの導入

- ・LED 照明、高効率機器の導入
- ・社用車への低公害車・電気自動車、ハイブリット車の導入



社用車にハイブリット車を導入し、環境に配慮した取り組みを行っている。

工場内を LED 照明に変更している

13 その他の3R推進に関する取組

- ・3Rに関して自社ホームページ上で紹介している

会社概要・設備紹介



「限りある資源の再利用」

これが日本のみならず、今や世界的に求められております。

当社におきましても、その問題に先駆けて「スクラップ事業」に取り組んで参り、すでに 50 数年が経ちました。

私たちは鉄スクラップをたんなる廃棄物にはなりません。資源の乏しい日本にとって重要な資源となるものです。また、鉄スクラップリサイクルは鉄鉱石から製品を製造する場合に比べて温室効果ガスを 75%削減することができます。

循環型社会をめざす日本では、家電リサイクル法をはじめとするリサイクルに関するさまざまな法律が制定されています。当社はその法律にのっとり適正なりサイクルを行っています。

皆様の企業、家庭からでる鉄スクラップを当社でリサイクルさせてください。お客様を大切に、責任ある仕事を行い、地元ふくいに貢献できる企業を目指してまいります。